

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年1月28日（木）

2 確認箇所

淡水化装置（RO1及びRO2）

3 確認項目

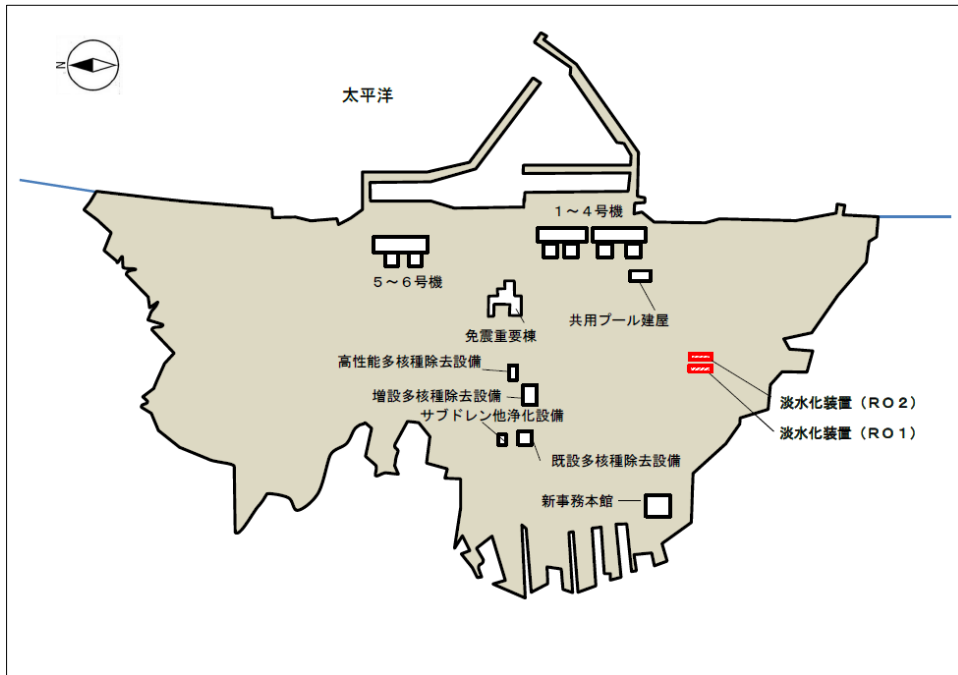
淡水化装置（RO1）からの水漏えいの対応状況等

4 確認結果の概要

令和3年1月10日に、解体撤去に向け停止中の淡水化装置（RO1）から放射性物質を含む水が堰内に漏えいする事象が発生したことから、その後の状況を確認した。

また、淡水化装置（RO1）建屋に隣接し、同様に解体撤去に向け停止中の淡水化装置（RO2）の状況も確認した。（図1、写真1）

- ・ 前回の現場確認（[令和3年1月12日](#)）では、淡水化装置（RO1）の漏えい水は堰内に滞留していたが、今回は全量が回収されて堰内のポリタンクに保管されていた。（写真2、3）
- ・ 東京電力によれば、回収した水の処理方法については検討中とのことである。
- ・ 上記以外に、淡水化装置（RO1）では、具体的な解体撤去方法を検討するため、同装置のROモジュール等内部の残水の抜取り作業が行われていた。（写真3、4）
- ・ 淡水化装置（RO1及びRO2）建屋内はともに凍結防止用の熱風発生器（ヒータ）が稼働していた。（写真5）
- ・ また、淡水化装置（RO2）では、建屋内の空間放射線量率の測定が行われていた。（写真6）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



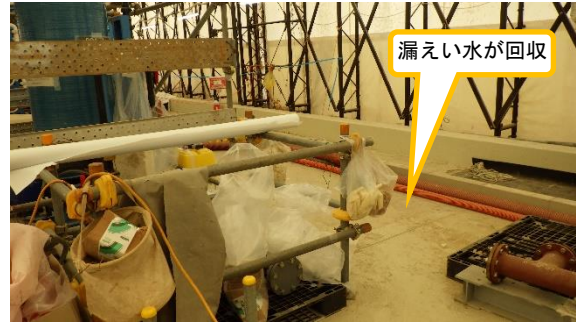
(写真1-1)
淡水化装置 (RO1) 及び淡水化装置 (RO2) 建屋の外観



(写真1-2)
淡水化装置 (RO1) の外観



(写真 2 - 1)
前回の状況
(令和 3 年 1 月 12 日撮影)



(写真 2 - 2)
今回の状況
(令和 3 年 1 月 28 日撮影)



(写真 3)
ポリタンクの状況
(左側 2 基が漏えい水回収用。右側
2 基が残水回収用)



(写真 4)
残水の抜取り作業の状況



(写真 5)
淡水化装置 (RO1) 建屋内の熱風
発生器 (ヒータ) の稼働状況



(写真6)
淡水化装置（RO2）建屋内の空間
放射線量率測定の様況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。